

冒険

あそび場たよみ

- 特集
- ① 続くコロナ禍…あらためて『外で遊ぶ』ことを見なおす
 - ② 遊び環境を、もっと豊かにしていくために



続くコロナ禍…

あらためて『外で遊ぶ』

ことを見直す



2021年度も昨年度と同様、あらゆる場面で新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた一年でした。ワクチン接種の進展の一方で新型株の登場なども続き、刻一刻と状況が変わるなかでしたが、こんな時だからこそ、リスクの低い屋外の遊び場・遊び環境を豊かにしていくことが大切。その時にできることを模索し続けました。

おそとのびすくin木ノ下公園

屋外での取り組みを拡充

…のびすく若林

NPO法人せんだいファミリーサポート・ネットワークと共に指定管理者として運営している仙台市子育てふれあいプラザ「のびすく若林」は、2021年度中に2回感染拡大による臨時休館になると共に、開館時も定員制・申込制とせざるを得ない状況でした。

そんな中、「より感染リスクの低い屋外の活動を拡充しよう」と、木曜～土曜は原則毎日、隣接する



「ふるさと広場」にプレーリーダーが出て、夏は木陰に、冬はひなたにシートを敷いて、乳幼児親子でも気軽に出て来やすい遊びや交流の拠点をつくりました。

吹き抜ける風を感じる風車や凧、出会った虫を見る虫眼鏡、拾ったどんぐりを転がせるおもちゃ、手作りの水鉄砲…そんな道具もきっかけにしながら外で遊び始めると、枝や葉っぱ、鳥の声、雲の形、水たまりなど様々なものに



興味を示し、親子で「おそと」の魅力を感じる姿が見られました。

また、月1回出張形式で実施する「おそとのびすくin木ノ下公園」も、今年度スタートしています。

貴重な屋外のあそび場を大切に

…海岸公園冒険広場

指定管理者として運営する海岸公園冒険広場は、有料エリアのデイキャンプ場については4/1～5/11、8/30～9/12の2回休止になると共に、区画数や定員に制限を設ける期間が長くなったものの、公園全体としては一年を通して開園しました。

コロナ禍が長期化する中、子どもの育ちのことを考えても、ただ家の中にもってばかりはいられません。

「せめて、屋外の遊び場に連れて行こう」そんな思いを受け止め、単に管理を強めるだけでなく、感染リスクを抑えながら来園者がのびのび過ごせる環境づくりに努めました。

デイキャンプ場の休止期間、
テーブルベンチを利用してつくった
「だいまいる」



誰かの遊び心が他の誰かの遊び心を刺激して、一緒に遊んでいないけど一緒に遊んでいる。園路も広く使いながら、遊びの世界はひろがる

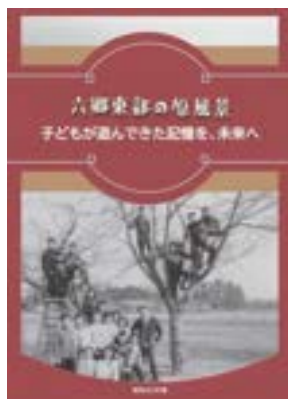
かつての子どもたちが遊んでいた経験を、未来につなぐ

…「東六郷であそぼう！」

海岸公園冒険広場もある若林区六郷東部地域で聞いた子どもの頃の思い出の話をもとにした遊び場活動を、今年度も実施しました。ほんの何十年か前まで、身近な屋外空間は、まさに「まるごと遊び場」でした。時代を経て失われた環境も多くありますが、よく見ていけば、「今ではできなそうに見えるけど、実は今もできる」ことがあります。



〈1月、井土地区で実施した「氷であそぼう！」〉
かつて、手作り下駄スケートですべっていたという水路跡に水を張り、
厳しい寒さが続く時期に合わせて遊びました。



六郷東部地域での遊びの原風景調査
をまとめた冊子
「六郷東部の原風景」

好評につき増刷しました。
興味のある方には、
差し上げています！

各地域での動きを応援する・支える

コロナ禍によりこれまで続けてきた遊び場活動の多くが継続できなくなるなか、あらためて重視したのは、まずはそれぞれの地域で子どもが遊ぶ機会をつくろう・ひろげようとしている人たちを応援することでした。

「子ども食堂に合わせ、公園で遊ぶ時間をつくりたい」「児童館での企画への応援を」といった住民の取組みや地域施設のイベント支援からはじめ、遊び場づくりの動きへの直接的な応援まで、多くの新たな展開が生まれた一年でした。震災発生後、さまざまな場所で遊び場活動を行いながら大事にしてきたのも、「プレーカーが行ったその日だけ自由に遊べる」のではなく、「プレーカーが行くことをきっかけに、日常が遊べる環境になる」ことです。多くの地域で子どもの遊び環境に関心を持つ人が増えていくための支援を続けていきたいと思えます。

六郷保育園隣接農地の「キッズファーム予定地」での遊び場づくり

若林区に小規模保育園を開設した一般社団法人保育アートラボからの「地域の子ども・大人も集まれる体験の場をつくりたい」との相談を受け、農地の環境を活かした遊び場活動を試行しました。これまでの遊び場活動の経験を活かし、遊びの幅をひろげることを意識した場の整備への協力も行いました。



休耕田の環境を活かして実施した
「土で遊ぶ」



岩沼市の楽農村での遊び場づくりに
一緒に取り組んできた岡崎さんの協力で
行なった、手作業での井戸掘り



遊び場づくり研修…子どもの遊び・遊び場づくりに関心のある人を対象に研修を行いました。

学習会 「『ガクちゃん』に聞く、遊び場・居場所づくり：名古屋の事例」



名古屋市で児童館を運営しながら
屋外の遊び場活動にも取り組む
「子どもNPO」塚本岳さんから
お話を伺いました。

プレーパークづくり研修会 「子どもの『遊び』を見つめ



今年活動の始まった
「よへえぬまプレー
「プレーワーカー」
講師に実施しまし

特

遊

して
いく
ため
に

施策形成の動きのフォローアップ

- 各地域で始まる遊び環境づくりの動きをひろげるためにも、自治体の施策にも目を向け、主体的に参画していきました。インターン生の協力を得て、県内自治体施策調査も行っています。

「仙台市みどりの基本計画」策定後の動き

「プレーパークの拡充」が位置づけられた計画について、その後の動きのヒアリングと意見交換を行いました。3月に策定された「百年の杜づくりプロジェクト推進計画2021-2025」には、プレーパークの普及啓発、プレーリーダーの育成推進、活動の内容に応じた柔軟な公園運用などが記載されています。

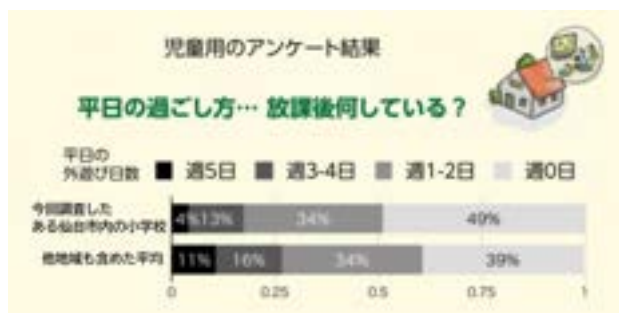
「仙台市遊びの環境に関する実証実験」

2020年度受託していた調査をもとに行われる実証実験業務について、NPO法人都市デザインワークス、株式会社コトブキと共同事業体を組んで応募、選定され準備を行ないました。
(実施は2022年度に延期)



実証実験「あそびば 仙台」の詳細・最新情報は、特設サイトをご覧ください。
<https://play-sendai.com/>

遊び環境調査の実施協力



千葉大学 木下勇氏・高崎経済大学 寺田光成氏ほかによる「子どもの外遊びを通じた地域住民との関わりに関する研究」について遊び場活動地域の小学校でのアンケート実施の協力をしました。
速報によれば調査した3・4・5年生のうち4~5割の子は平日一日も外で遊んでいないという結果も出るなど、子どもの遊び環境の現状の一端が明らかになってきています。



「寄り添う方法」
た
「パーク」の地域で、
ズ」廣川和紀さんを
た。

Topics 2021年度トピック

咲きました！「ひがろく桜」



前年度（2021年2月）「ひがろく桜プロジェクト」で植樹した、旧東六郷小校庭で津波に耐えて咲いた桜の2世。東六郷コミュニティ広場をはじめ東部5地区と六郷小・六郷中の全てで花を咲かせています。六郷中では、旧東六郷小の校歌にあやかった「白雲」の愛称をつけて生徒会が大事に世話をしています。

交流サロン「縁側倶楽部」も続けています



コロナ禍で前年度は限られた開催となった交流サロン「縁側倶楽部」ですが、2021年度は、感染拡大期を除き対策をとった上で一年を通して活動を続けました。12月には現地再建地域、東六郷コミュニティセンターでの「ひがろく縁側倶楽部」もスタートしました。

「北山活動ベース」スタート…皆さまお越しください！



海岸公園冒険広場周辺地域を越えた遊び環境づくりの展開を見据え、2021年度は「ネットワーク事業」部門を海岸公園冒険広場から独立させると共に、9月より仙台市青葉区北山に新たな活動拠点を開設しました。活動団体の方、学生さんなど、多くの人が気軽に集まれる場にできたらと考えていますので、皆さま一度お越しください。（住所：仙台市青葉区北山1-8-23）

ホームページリニューアル！



発信力強化のため、ホームページのリニューアルに取り組みました。遊び場・遊び環境づくりのために取り組んでいる幅広い活動の発信をしていきますので、皆さま一度訪ねてみてください。

ホームページはこちらから



他団体への協力等

遊び場活動・行事協力等

- ★あらはまこども地域食堂
- ★子ども食堂おひさま
- ★田子西こたま町内会
- ★わたしのふるさとプロジェクト
- ★Open Village ノキスタ
- ★みやぎ生協
- ★蒲町児童館
- ★六丁の目マザーゲースこども園
- ★生出市民センター
- ★仙台市嘱託社会教育主事研究協議会若林区部会
- ★若林区中央市民センター
- ★みちのく湖畔公園
- ★大和町教育委員会

授業協力等

- ★東仙台小学校（海岸公園冒険広場で震災について）
- ★南中山小 総合学習（防災についてビデオ収録協力）
- ★南小泉中学校 職場体験受け入れ

講師派遣等

- ★日本冒険遊び場づくり協会「ブレイカーでの遊び場づくり座談会」
- ★東北福祉大学社会福祉学科（専門演習Ⅰ）
- ★南光台東子ども会育成会 インリーダートレーニング「冒険遊び場をつくろう」
- ★あれすべ実行委員会
「あれから10年スペシャル～仙台市職員の震災体験を100年後の私たちへ～」
- ★仙台市岩切児童館 職員研修

視察・見学・ヒアリング等受入

- ★山元町教育委員会
- ★宮城学院女子大学ゼミ
- ★早稲田大学 地域社会と危機管理研究所
- ★高崎経済大学
- ★山形大学 ゼミ
- ★減災環境デザイン室（京都府）・あれすべ実行委員会
- ★東北大学課題解決型演習「被災地復興の課題に取り組む」

インターン生受入

- ★NPO法人ドットジェイビー

メディア等での紹介

新聞

- ★河北新報「震災10年あしたを語る／子ども癒やす身近な場必要」（6/3）

ラジオ

- ★ラジオ3「ラヂオはいらいん若林「六郷東部の原風景」（前編・後編）」（7/3・7/10）
- ★ラジオ3「子育て支援情報局のびすくネット仙台」（11/15）

雑誌・広報誌等

- ★プレスアート「S-style宮城あそび場徹底ガイド」海岸公園冒険広場の紹介（10/25）

その他

- ★仙台市政だより1月号「明日への伝言～東日本大震災10年復興の軌跡」（1/1）
- ★仙台市広報課facebookページ「自然の中で自由に遊ぼう！海岸公園冒険広場」（1/12）
- ★JRフルーツパーク仙台パネル展「フルーツの力で笑顔を。～仙台市東部沿岸地域の復興の歩みとJRフルーツパーク仙台あらはまの取り組み～」（6/25～7/11）
- ★若林区まちづくり協議会・若林区「2021若林区民オンラインまつり」特設サイトにて海岸公園冒険広場の紹介動画を掲載（10月）
- ★JR東日本企画「せんだい・なとりの今魅力再発見」特設サイト内「まなぶー震災とその先の未来学習」にて海岸公園冒険広場の被災と被災後の取り組みの紹介（12/22～3/31）

Column



オリンピックイヤーに 子どもの遊びを考えた

2021年度は、夏季東京/冬季北京とオリンピックの年でした。2月には「スケートの聖地」としての仙台が目されることもありましたが、佐藤ジュンコさんの漫画では、子どもの遊びの視点で紹介していただきました。楽しいから、できるようになるし、うまくなる…遊びとスポーツはもともと地続きのものなんだろうなど、あらためて考えました。

佐藤ジュンコさん「街で会いましょう(279)「スケートの聖地」」河北新報2022.4.4夕刊掲載

2022年度に向けて



新型コロナウイルス感染症拡大の影響が社会全体を覆ったまま、2年以上になりました。「こんな時だからこそ…」と、昨年度新体制のもとに再スタートさせた遊び場活動については、引き続き各地域の住民・関係機関とも連携して、地域を支える動きに力を入れながらひろげていきます。

「子どもの遊び環境の充実」の施策が位置づいた仙台市の子ども・子育て推進事業計画は折り返しの年を迎えて「実証実験」もスタート、みどりの基本計画に位置づく「プレーパークの拡充」施策も今後具体化していくことが見込まれます。私たちとしても、これまでの経験を活かして、政策形成プロセスにも主体的にかかわっていきたくと考えています。

それと同時に、沿岸の震災被災地域周辺での諸活動も、海岸公園冒険広場を拠点としながらしっかりと継続します。「遊ぶ」「楽しむ」という視点から、地域の持つ魅力に気づき、活かす取組みを展開していきたいと思えます。

2021年度も、多くの個人・団体の皆様からの寄付により活動を続けることができました。

この場を借りてお礼申し上げます。会員についても募集中です。

HPからの手続きもしやすくなりました。引き続きのご支援・応援よろしく願いいたします。

※当会は税制優遇の対象として宮城県認定を受けている認定NPO法人です。確定申告をすることで、寄付金の最大約半分が戻ります。

2021年度の助成金・受託事業等

- ・東日本大震災復興支援財団「子どもサポート基金」
- ・ハタチ基金「ハタチ基金助成」
- ・宮城県「みやぎ地域復興支援助成金」
- ・杜の都の市民環境教育・学習推進会議「杜々かんきょうレスキュー隊事業環境学習プログラム体験実践業務」
- ・仙台市「海岸公園の一部（冒険広場及びキャンプ場を含む。）指定管理業務」（冒険あそび場せんだいみやぎネットワーク・東洋緑化共同企業体）
- ・仙台市「仙台市子育てふれあいプラザ若林」指定管理業務（せんだいファミリーサポートネットワーク・冒険あそび場せんだいみやぎネットワークグループ）

発行・編集

認定特定非営利活動法人 冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク

〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-8-17日東ハイツ405

E-mail : jimukyoku@bouken-asobiba-net.com

発行 2022年7月

冒険あそび場ネット

検索

